

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 加藤 敏昌
幹事 青山 敏郎
会報委員長 小池 宗

No. 26

ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは 希望をもたらす

1986~87年度

RI会長 M.A.T. カバラス

第220回例会 昭和62年1月6日(火) 晴

- ◇ “君が代”
- ◇ “奉仕の理想”
- ◇ 出席報告
会員 57名 出席 43名
出席率 75.44%
前回 12月23日 (修正出席率) 100%
- ◇ ビジター紹介 東RC余語特別代表
- ◇ お誕生日祝福
吉田夫人(1/1)、池田夫人(1/9)、小坂井夫人(1/11)
- ◇ ニコボックス
名古屋東RC 余語 栄三君 あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いたします。
水野 民也君 新年最初のNiko ありがとう。
松居 敬二君 昨年お世話になりました。本年もよろしく。
加藤 敏昌君 本年もよろしく。
成田 良治君 新年おめでとうございます。本年もよろしく。
寺澤 竹三郎君 新年おめでとうございます。1987年よろしく願いたします。
渡辺 辰夫君、秋山 茂則君 新年早々申し訳ありませんが、所用のため早退させていただきます。
谷口 暢宏君、久保田 皓君、宮尾 紘司君、新美 敢君、水野 賀統君 新年おめでとうございます。
吉田 節美君、池田 隆君、小坂井 盛雄君 夫人誕生日祝い。
菊池 昭元君 結婚記念日祝い。

◇ 青山幹事報告

1. 本日例会終了後、次年度理事役員会を開催いたしますので、次年度理事役員の方は2F橋の間にお集まり下さい。
2. 第258地区東京葛飾RCと第275地区東京大森RCより地区大会の御案内がきてお

りますので、参加御希望の方は事務局までお申し出下さい。

3. ロータリーの友1月号がきておりますのでお帰りにお持ち下さい。

◇ 加藤(敏)会長挨拶

社家の邸宅が並び、門構えに築地塀がめぐり、正月の祈りに、最もふさわしい水辺の道で、昔は御手洗川とよんでいて、上賀茂神社に参拝する人が、手を洗い清める川であった。今も心を洗われます。

きみがため みたらし川を 若水
むすびや千代の 始めなるらむ

◇ 乾杯 東RC余語特別代表



あけましておめでとうございます。元気で新年を迎えたことを感謝し、今年もよい年であることを祈念いたします。





新年例会のため、立食パーティが行なわれました。

◇ R I ニュースより

ベター・ワールド・ソサイエティ

第1回年次人類愛賞をロータリーに贈呈

「人が人への思いやりを忘れたら、『ベター・ワールド(よりよい世界)』と言ってもどれほどの意味があるでしょうか? 全世界の人々が自分の生活水準を高め、人間らしい品位ある生活を送れるよう力を貸さないとしたら…… 実際、生き抜いていくだけで精一杯という状況があまりに多い中で、何の手助けもしないとしたら。世界各地を見まわすと、人間として必要な最低限の条件---食糧、住まい、健康---が今なお驚くほど満たされていません。ですが、ありがたいことに、国際ロータリーは、その多大の人的、物的資源を駆使して、このようなことに取り組んでいます」

ベター・ワールド・ソサイエティの理事で元米大統領のジミー・カーター氏はこう語りました。去る9月ニューヨーク市で開かれたソサイエティ第1回年次授賞夕食会で、M.A.T.カパラス会長がR.I.を代表して人類愛賞を受けたときのことで、ベター・ワールド・ソサイエティは、国際的な非営利団体で、地球上での人々の生活に直接影響を及ぼすような世界的問題に対する個人の自覚を促すことに貢献しています。

カーター元大統領は、ロータリーの数々の業績を称賛しました。グアテマラシティの栄養不良防止プログラム; マラウイにおけるロータリアンのボランティア整形外科医のポリオ患者への矯正外科手術; エチオピアにおける水資源の設置; バングラデシュにおける内陸漁業の確立; メキシコにおける孤児の職業訓練プログラム。

これらのプログラム、また、他の多くの奉仕プログラムが「『超我の奉仕』という信条に明確な意味」を与えていると述べた後、元米大統領は、全ロータリアンに次のような称賛を送りました:「国際ロータリー---団体に對しても、人道的目標に貢献している100万会

員ひとりひとりに対して敬意を表します」

カパラス会長は、感謝しつつメダルを受け取り、この受賞がロータリーの奉仕活動への支援を一層強化、奨励する成果を上げることになりますように、と希望を表明しました。

ロータリー、ユニセフの

平和のための聖火リレーを支援

1986年9月16日に、ニューヨークの国連で聖火に火がともされました。国際平和と協力の象徴として、走者から走者へと世界中にリレーされているところです。平和のための聖火リレー(First Earth Run)として知られる、この企てが、あらゆる人種と信条の人々を協調精神の中に包み込めることを希望しています。

国連児童基金(ユニセフ)を通じて、この聖火リレーは、世界の最も貴重な宝、つまり、子供の幸福を図るものです。そのメッセージは、「子供に平和を、世界のチャンス!」であります。

ロータリーは、国際平和年とユニセフ創立40周年を記念する、このまたとない試みを支援します。ロータリーとユニセフは、世界の全児童にポリオの免疫を受けさせようという活動のパートナーであります。このため、聖火とともにカパラス会長の特別書簡を携えています。この書簡の一部でこう言っています:「聖火ランナーが無言で聖火を運ぶように、私達のポリオ・プラスの活動は世界に希望を運んでいます」

ロータリーは、各地の児童の健康と幸福に関心を持っていますので、通過地点沿いのホスト市のロータリアンは、歓迎式典に参加し、その代表が書簡添付の名簿に署名するようカパラス会長から要請されています。

聖火リレーは進行しています: 5大陸70の主要都市のロータリアンがこの催しに参加したか、または、現在参加しています。これは12月11日にニューヨークで幕を閉じます。

◇次年度理事役員会

1. 5周年記念例会の件

◇例会変更のお知らせ

名古屋大須RC	1/22(木)ファイヤーサイドミーティングの為、1/19(月)
	JIVEにてPM 6:00より
名古屋東RC	1/26(月)4RC合同例会の為、1/28(水)ナゴヤキャッスルにてPM 12:30より

◇次回例会(1月13日)

講演 “これからの経営”

(株)セントラル経営センター 取締役企画部長
高岸 義昭 氏 (紹介 真下君)

◇次々回例会(1月20日)

第3回 クラブアセンブリー